

平成18年度「高度先進技術研修」実施日程及び内容等

研修実施機関名 九州沖縄農業研究センター

研修実施課題名 イチゴを中心とした天敵利用等によるIPM技術の現状と課題

月日(曜日)	時 間	研 修 科 目	内 容	方 法	講 師 等
(1日目) 8月3日 (木曜日)	8:30 9:00～ 9:20	受付 開講式	九州沖縄農業研究センター 久留米研究拠点 研究管理監(久留米拠点担当) 研究センターの概要、研修テーマの意義他	受付 開講式	研究管理監(久留米拠点担当)
	9:20～ 10:20	生物資材の特性	イチゴ等施設野菜で使用可能な生物資材の種類とその生物学的な特性について紹介する。	講 義	アリスタ・ライフ・サイエンス 株式会社 開発・登録部 生物農薬開発担当マネージャー 山中 聡
	10:20～ 11:00	イチゴの主要害虫のIPM体系	イチゴの主要害虫のハダニ、アブラムシ、アザミウマ類、ヨトウ類を対象としたIPM体系について解説する	講 義	九州沖縄農業研究センター イチゴ周年生産研究チーム 上席研究員 柏尾具俊
	11:00～ 12:00	普及技術としてのイチゴの主要害虫のIPM体系の構築上の課題	イチゴの主要害虫を対象とした実用的なIPM体系を組み立て、それを普及に移すために必要な要素、注意すべき事項等について、福岡県での取り組み事例を中心に解説する。	講 義	福岡県農業総合試験場 病害虫部 虫害チーム 専門研究員 獄本弘之
	13:00～ 14:00	イチゴのIPM技術の普及にあたっての問題点とノウハウ(1) 福岡県での事例	イチゴの主要害虫のIPM技術を普及するための計画立案や農家指導等の問題点やノウハウについて先進県(福岡県、暖地イチゴ)での具体例をもとに紹介する。	講 義	福岡県八女地域農業改良普及 センター 技術主査 國武孝浩
	14:00～ 15:00	イチゴのIPM技術の普及にあたっての問題点とノウハウ(2) 宮城県での事例	イチゴの主要害虫のIPM技術を普及するための計画立案や農家指導等の問題点やノウハウについて先進県(宮城県、寒冷地イチゴ)での具体例をもとに紹介する。	講 義	宮城県 亘理農業改良普及センター 技術主査 小野寺康子
	15:00～ 17:00	カブリダニ類の見分け方と同定法	カブリダニ類の分類の概要、生物農薬として利用されているカブリダニ類、土着のカブリダニ類の見分け方と同定法について解説する。 また、市販のカブリダニ類、及び、代表的な土着のカブリダニ類をサンプルとし、標本作製法と同定法について実習を行う。	講 義 実 習	果樹研究所 省農薬リンゴ研究 果樹サブチーム 主任研究員 豊島真吾

月日（曜日）	時 間	研 修 科 目	内 容	方 法	講 師 等
（２日目） ８月４日 （金曜日）	8:45 ～ 9:45	移動(貸切バス)	福岡県八女市のイチゴほ場へ移動		
	9:45 ～ 10:30	生物農薬の取扱法	イチゴの IPM の普及が進んでいる福岡県八女市のイチゴほ場において、生物農薬（チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ、ククメリスカブリダニ、コレマンアブラバチ、Beauveria bassiana 剤剤等）の取扱法、放飼する際の注意事項などについて現物を用いで紹介、実習を行う。	講 義 実 習	アリスタ・ライフ・サイエンス株式会社 開発・登録部 生物農薬開発担当マネージャー 山中 聡
	10:30 ～ 12:00	現地見学、意見交換	イチゴほ場を見学し、農家も交えて、IPM の実施上の問題点や成功の秘訣などについて意見交換を行う。	見 学 意 見 交 換	福岡県八女地域農業改良普及センター 技術主査 國武孝浩 他 講師全員
	12:00 ～ 12:10	閉 講 解 散	終了後、「西鉄久留米」「ＪＲ久留米」経由で、久留米研究拠点へ		研究管理監(久留米拠点担当)